

天 草 農 業 研 究 所

I 基本方針

天草は、県の南西部に位置する島しょ地域で、温暖な気候を活かして、「肥の豊」（デコポン）、「河内晩柑」、ポンカンを主体とした中晩柑類が特産品として定着している。しかし、近年、温暖化が進む中で、生育特性の変化や果皮障害が発生し、生産が不安定になってきている。また、生産者の高齢化も進み、軽労働化対策も必要となっている。

このようなことから、天草地域の気象条件を最大限に活かし、高品質・低コストの売れる農産物づくりにより農業農村の持続的な発展を図るため、近年の気象においても安定生産できる良食味品種の選定や、「肥の豊」及び「河内晩柑」における安定生産技術と省力化技術の確立に向けた試験研究に取り組む。

II 重要研究事項

1 くまもと農業の未来発展につながる新品種の開発・選定

近年、品種登録された中晩柑品種「あすき」「瑞季」の特性把握を行い、天草地域における適正の判断を行う。

2 生産性の向上を目指した革新的な生産技術の開発

天草特産果樹である「河内晩柑」について、ヒリュウ台を用いた省力化と安定生産技術を確立する。

露地栽培「肥の豊」では、早急な解決が求められている品質向上や果皮障害軽減技術を確立する。

また、新品種「熊本E C 12」は、天草地域での導入も増えていることから、天草での着果安定技術と屋根かけ栽培における高糖度果実生産技術を確立する。

Ⅲ 試験研究課題一覧

【天草農業研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
果樹	1 くまもと農業の未来発展につながる新品種の開発・選定	新規 (1) 天草地域の気候を活かした果樹優良品種の選定	1,375	県単	① 果樹優良品種の選定	R7～継続
	2 生産性の向上を目指した革新的な生産技術の開発	(1) 天草地域特産果樹の生育把握と省力化技術等の確立	1,411	県単	① カンキツ・ビワの生育調査 ② ヒリュウ台「河内晩柑」の省力化と安定生産技術の確立	H26～継続 R6～R9
		(2) 天草地域における新品種「熊本EC12」の高品質果実安定生産技術の確立	1,460	県単	① 天草地域における「熊本EC12」の着果安定技術の確立 ② 屋根かけ栽培における高糖度果実生産技術の確立	R6～R8 R6～R8
		(3) 露地栽培「肥の豊」における新技術等を活用した高品質果実出荷安定技術の確立(再掲)	1,219	県単	① 高品質果実生産技術の確立「果樹研究所、天草農業研究所」 ③ 高齢化に対応した省力化技術の確立「天草農業研究所」 ※②は果樹研究所のみ実施	R5～R7 R5～R7

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

組替：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

延長：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

短縮：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題